



文化遺産×人材のイノベーションでコロナ克服のシンボルに

国登録有形文化財

旧南湖院第一病舎等利活用事業



南湖院（なんこいん）

茅ヶ崎

背景

- 東洋一のサナトリウム（明治32年開設の結核療養所）
- 療養や見舞に訪れた多くの文化人や著名人がここでの体験を作品化・社会活動を展開

- 別荘地や療養地に選ばれてきた風土とゆっくりとした時間の流れ
- 新たな文化を生み出してきた歴史（海辺の文化）
- ローカルを愛する市民の価値観

加山雄三や桑田佳祐を始めとする“文化人・芸術家・クリエイターが輩出されるまち”として発展

現状の課題

- 南湖院を象徴する第一病舎の文化財としての価値の維持
- コロナ禍の閉塞感から脱するため若者の新たな挑戦の場づくりと地域活性化が必要

事業の目的

Innovation

— 新たな価値を生み出す環境形成 —

明治遺産



次世代の

× 茅ヶ崎カルチャーを牽引する人の育成・環境づくり





文化遺産×人材のイノベーションでコロナ克服のシンボルに

国登録有形文化財

旧南湖院第一病舎等利活用事業



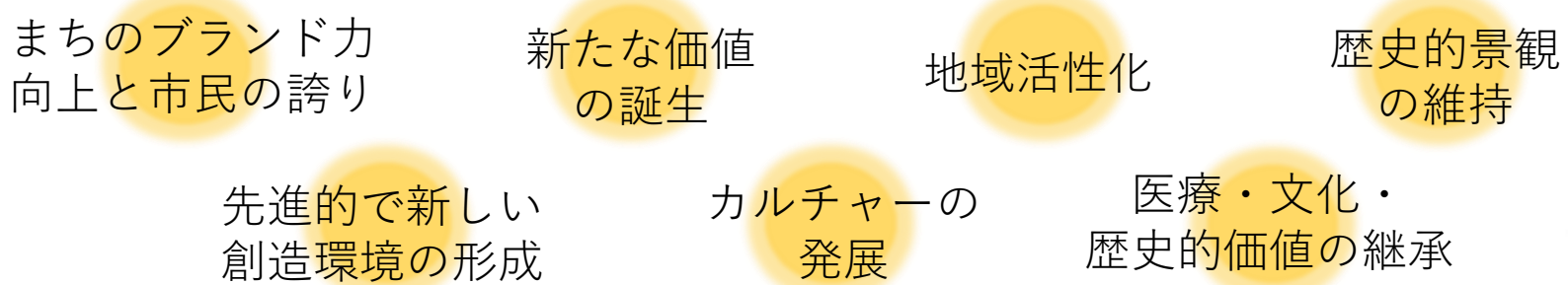
これまでの取組

第一病舎 国登録有形文化財登録	旧南湖院第一病舎等 利活用基本方針策定	南湖院記念太陽の郷庭園 一般公開	関東の富士見百景 に選出
--------------------	------------------------	---------------------	-----------------

事業内容

- 第一病舎の**文化財としての価値継承と利活用**
- 文化芸術活動やものづくりをする**次世代育成・支援**
- 明治から大切に守られてきた療養文化の風土が残る**豊かな自然環境の保全**

得られる成果等



寄附のメリット

- 茅ヶ崎ブランドの活用
 - 連携による新規事業開拓
 - 感染症の歴史保全や人材育成などの社会貢献
- 企業の皆様へのお願い**
- ご寄附による支援 (リノベーション費用・人材育成費用)
 - 運営に関する助言

